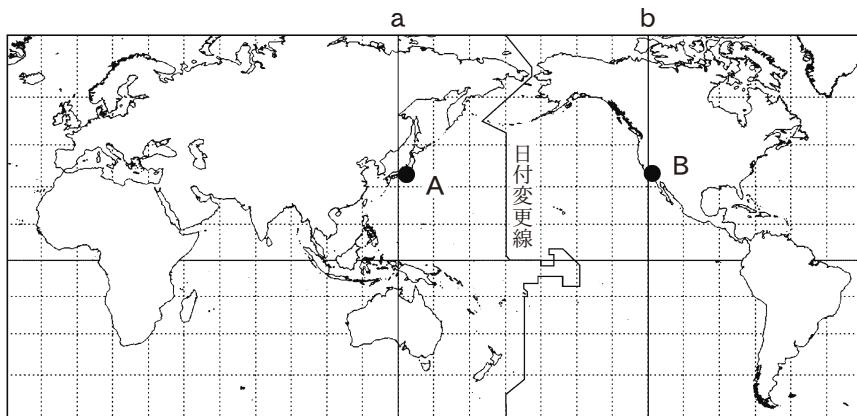


旧 地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 地理的技能とその活用、および日本の自然環境と防災に関する次の問い合わせよ。(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1中の地点AとBは、後の表1における直行便のフライトスケジュールに示された空港がある都市の位置を示している。AからBへの正しい所要時間を、後の①~④のうちから一つ選べ。なお、サマータイム制度は考慮しない。



地点Aは経線a、地点Bは経線bの時間帯にそれぞれ対応。経線と緯線は15度間隔。

図 1

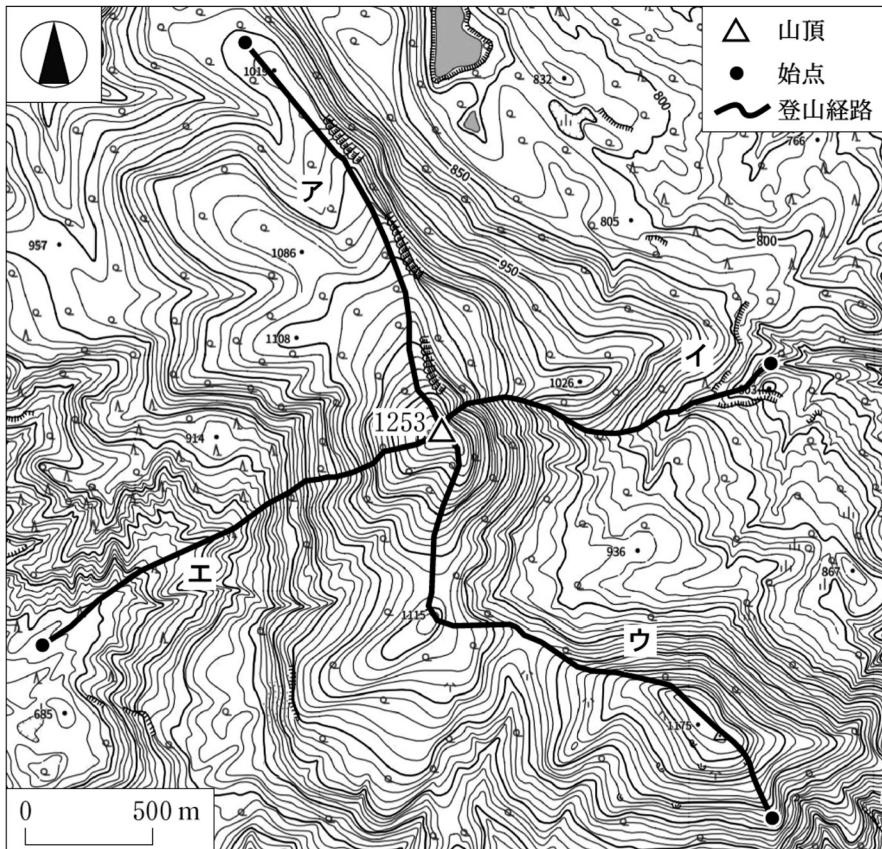
表 1

地点Aの空港の出発日時(現地時間)	地点Bの空港の到着日時(現地時間)
12月1日 17時00分	12月1日 9時50分

航空会社の時刻表により作成。

- ① 7時間10分 ② 9時間50分
③ 11時間10分 ④ 16時間50分

問 2 次の図2中のア～エは、同じ山頂を目指した場合に考えられるいくつかの経路を示したものである。それぞれの登山経路の特徴を説明した文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2



地理院地図により作成。

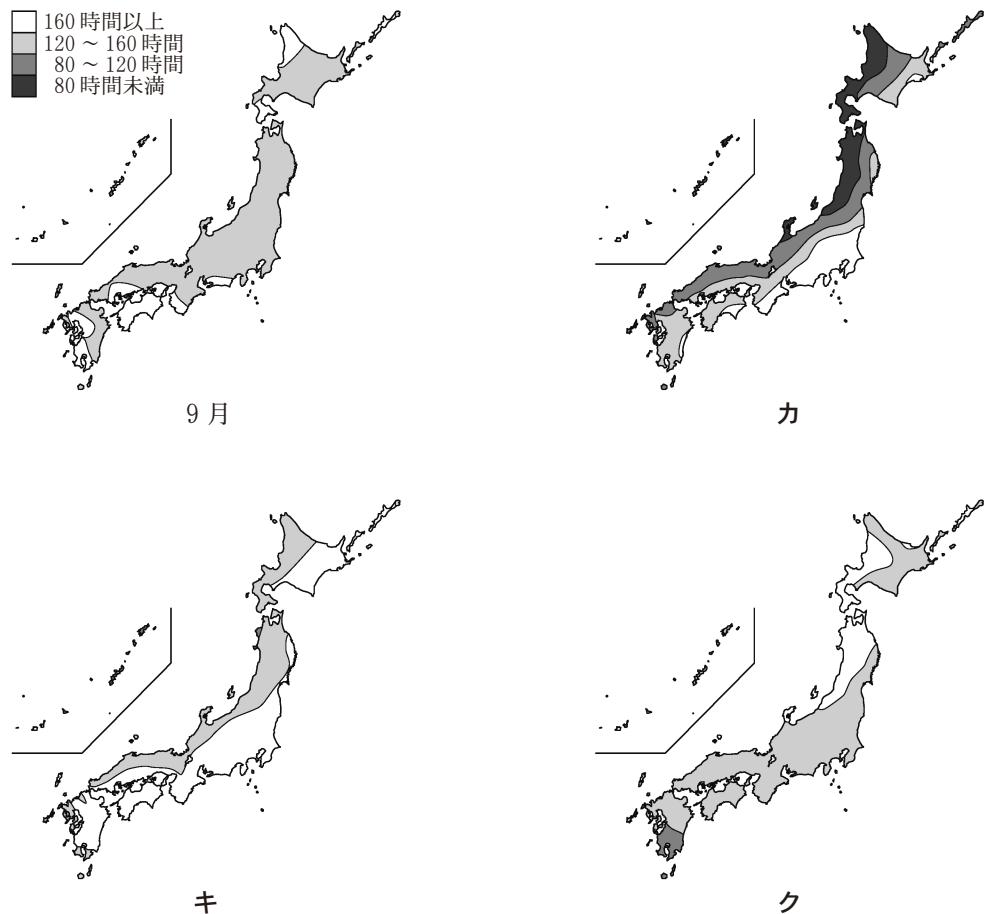
図 2

- ① アは、山頂に向かって左の崖から落石を受ける危険のある経路である。
- ② イは、全体を通して谷に沿って進む経路である。
- ③ ウは、尾根に沿って登りと下りを繰り返す経路である。
- ④ エは、他の経路と比較して始点と山頂の比高が最も大きな経路である。

旧地理A

問3 次の図3中の力～クは、3月、6月、12月のいずれかの月における日照時間を見たものである。月と力～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

3

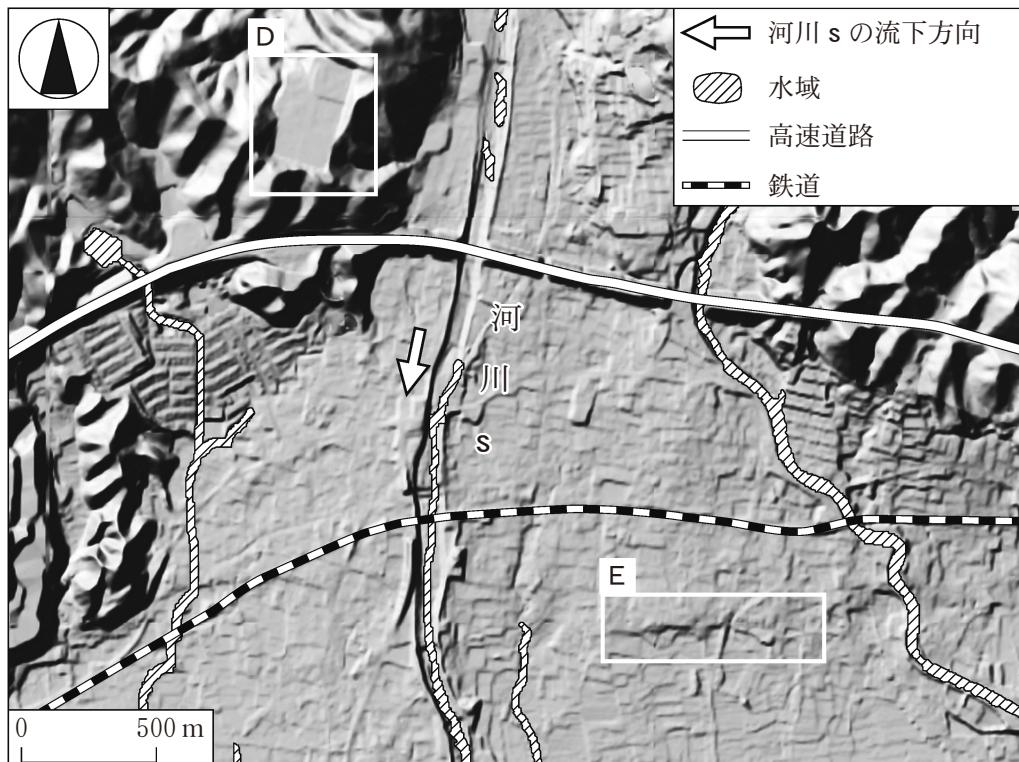


気象庁の資料により作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
3月	力	力	キ	キ	ク	ク
6月	キ	ク	力	ク	力	キ
12月	ク	キ	ク	力	キ	力

問 4 次の図4は、日本のある河川沿いの地域について、地表面の起伏を陰影により表現したものである。図4に関することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 4



地理院地図により作成。

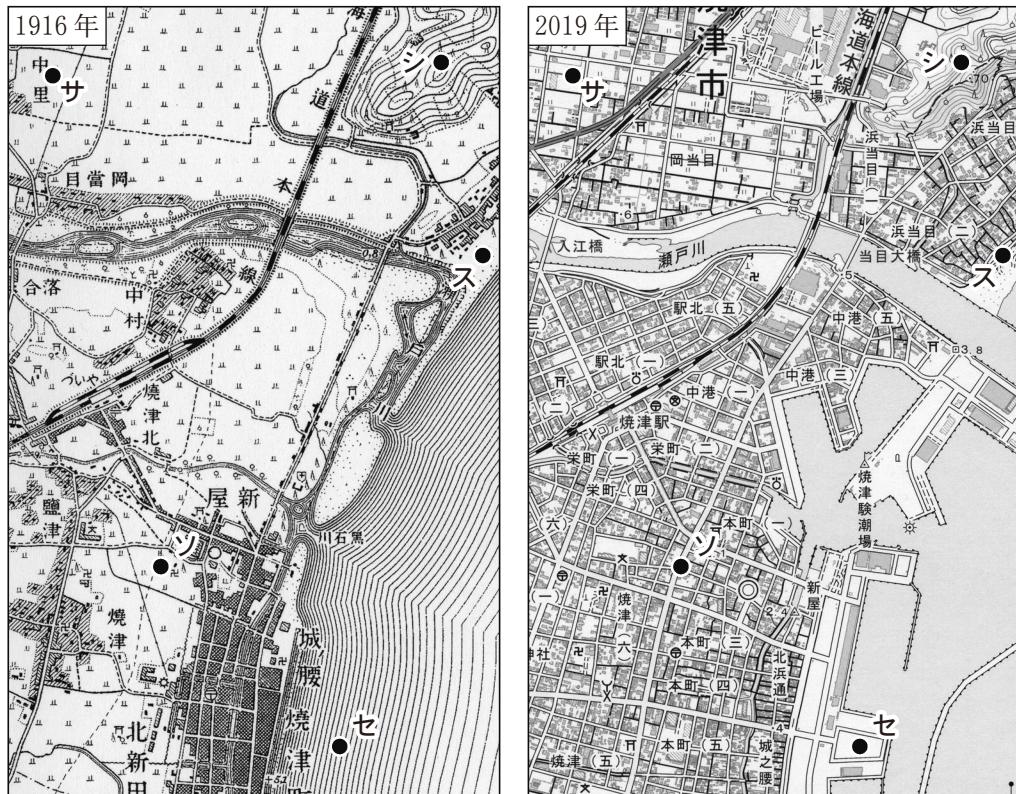
図 4

- ① 河川 s 沿いには、人工の堤防が築かれている場所がある。
- ② 河川 s には、河川が伏流し、水無川となっている場所がある。
- ③ D の範囲には、丘陵地を人工的に改変した平坦地がみられる。
- ④ E の範囲には、河川 s の侵食によって形成された崖がみられる。

旧地理A

問5 次の図5は、日本のある海岸付近における、1916年と2019年に発行された2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)である。図5中の地点サ～ソのうち、現在、液状化の発生する可能性が最も低い地点を、後の①～⑤のうちから一つ選べ。

5



地点サ～ソは、左右の図で同じ地点を示す。

図 5

① サ

② シ

③ ス

④ セ

⑤ ソ

問 6 次の図6は、日本のある河川の流域の地形と流路を示したものである。また、図7中のタとチは、図6中の破線の範囲を中心に大雨が降った際の、地点XとYのいずれかにおける洪水の危険度*の時間変化を示したものである。さらに、後の文章は、図6に関することがらについて述べたものであり、空欄zには右岸と左岸のいずれかが当てはまる。地点Xに該当する時間変化と空欄zに当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

6

*気象レーダーの実況値に基づいて予測した降水量などから求めた指標。

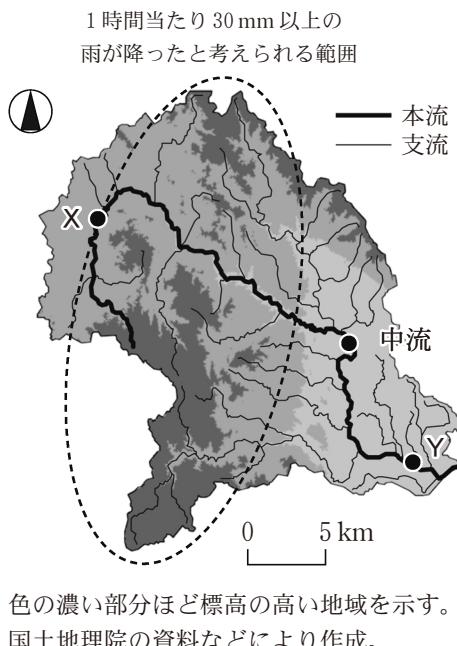
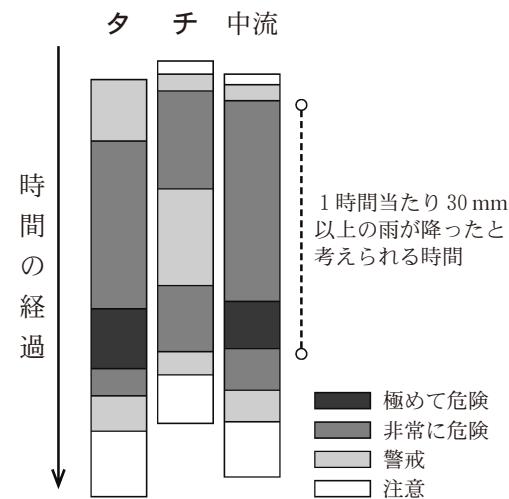


図 6



気象庁の資料により作成。

図 7

河川本流の水位変化には、支流からの流入も大きく関わる。中流の地点からYの区間において、本流の右岸側と左岸側の支流を比べると、流域面積が大きいのは(z)側である。

- ① ター右岸 ② ター左岸 ③ チー右岸 ④ チー左岸

旧地理A

第2問 世界の生活・文化に関する次の問い合わせ(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の写真1は、カンボジアのトンレサップ湖でみられる伝統的な漁村集落を、渴水期(水位が低い時期)と浸水期(水位が高い時期)に同じ地点で撮影したものである。写真1に関することがらについて述べた文章中の下線部①~④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 7

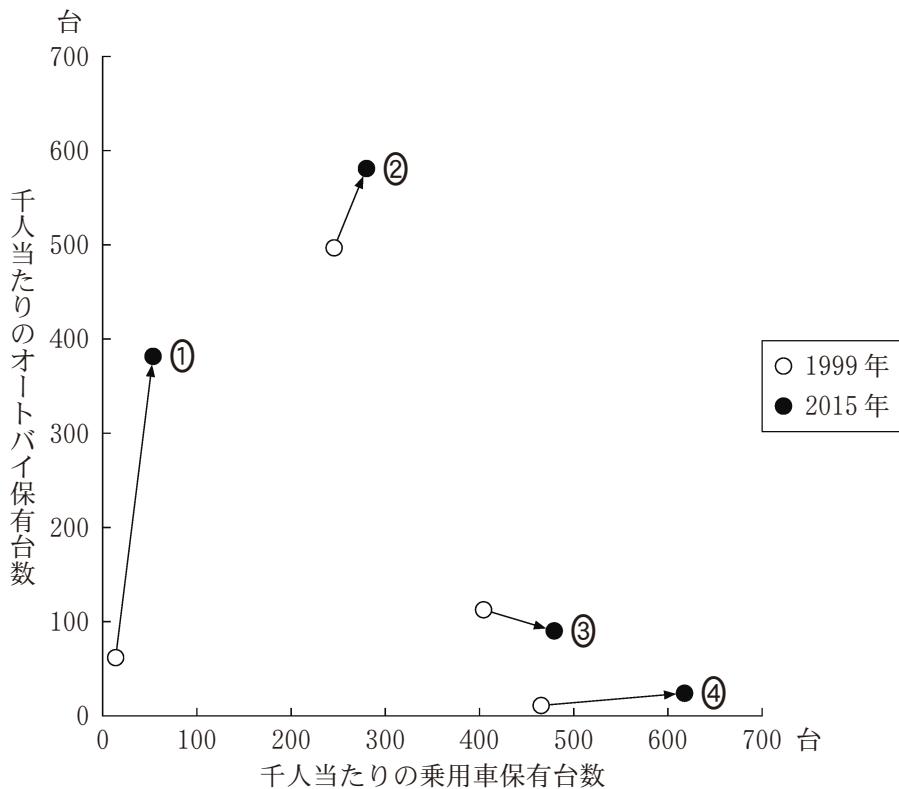


写真 1

この湖は、浸水期に水面が上昇し、湖の面積が渴水期の5倍以上になる。渴水期には、広い空き地に、①砂ぼこりを避けるために柱を長くした高床式住居の並ぶ集落景観がみられる。また、渴水期には、浸水期に繁殖した魚が②湖の縮小にともなって狭い水域に集まるため、渴水期は漁業に適した時期になる。

浸水期には、③空き地は水域になり、舟が主要な交通手段となる。村の共同井戸は水没するため、④住居下まで浸水した湖水を飲料以外の生活用水に使用する。

問 2 次の図1は、1999年と2015年の、いくつかの国・地域における人口千人当たりのオートバイ保有台数と乗用車保有台数を示したものである。図1中の①～④は、日本、インドネシア、カナダ、台湾のいずれかである。台湾に該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 8



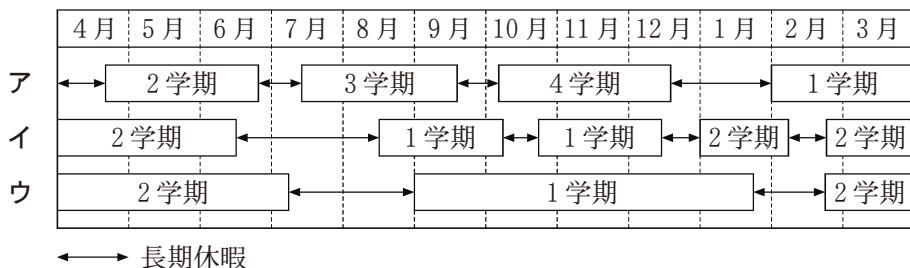
『世界自動車統計年報』などにより作成。

図 1

旧地理A

問 3 次の図2は、いくつかの国の首都における公立小学校のカレンダーを示したものであり、ア～ウは、オーストラリア、中国、フィンランドのいずれかである。また、後の文A～Cは、ア～ウのいずれかにおける長期休暇について述べたものである。ア～ウとA～Cとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

9



外務省の資料などにより作成。

図 2

- A 夏季の長期休暇中にクリスマスがある。
- B 旧正月の時期に長期休暇になる。
- C 短い夏における長期休暇を重視する。

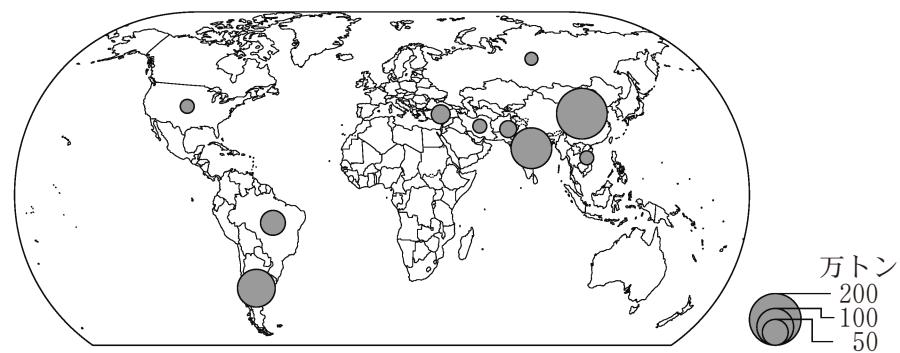
	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 4 次の図3は、いくつかの品目の年間供給量について、世界の上位10か国・地域の分布を示したものであり、カ～クは、カカオ、コーヒー、茶*のいずれかである。品目とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

10

*マテ茶を含む。

力



キ



ク



中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。統計年次は2020年。
FAOSTATにより作成。

図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
力力オ	力	力	キ	キ	ク	ク
コーヒ一	キ	ク	カ	ク	カ	キ
茶	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理A

問 5 世界には、各地の自然環境や文化に根ざした保存食がみられる。次の写真2中の①～④は、後の図4中のa～dのいずれかの地域でみられる特徴的な保存食を撮影したものである。cでみられる保存食として最も適当なものを、写真2中の①～④のうちから一つ選べ。 11



魚の尾びれを結び合わせて竿にかけ、天日で干してつくる保存食。長期保存ができる、軽くなるために運搬しやすくなる。

①



樹液を集めて煮つめ、水分を蒸発させることでつくる保存食。様々な料理に甘味料として使用される。

②



昼夜の温度差を利用し、凍結と乾燥を繰り返してつくる根菜の保存食。この過程で皮などに含まれる毒も除去できる。

③



野菜を香辛料とともに漬け、乳酸菌のはたらきを利用してつくる保存食。厳冬期の野菜不足を補う。

④

写真 2

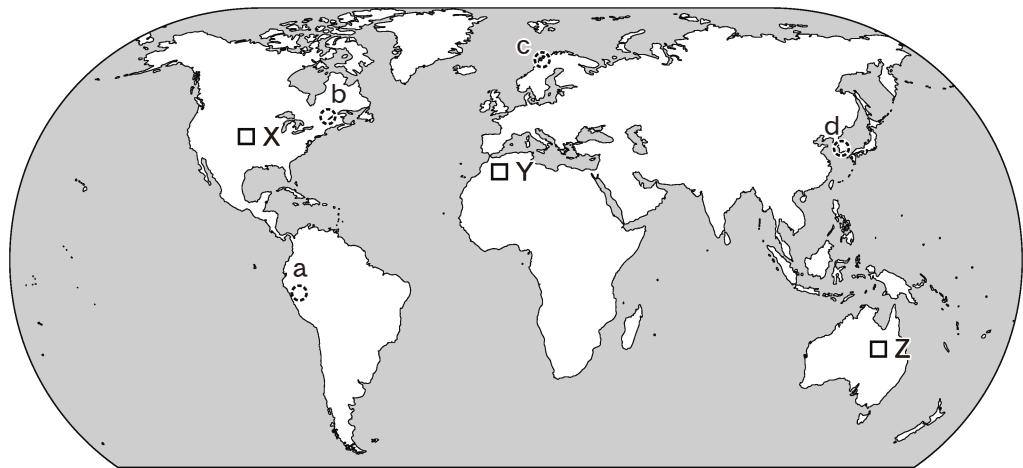


図 4

問 6 次の文サ～スは、図4中のX～Zのいずれかの地域における、農牧業に必要な地下水の利用について述べたものである。X～Zとサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

12

サ 地下水が得られる場所と農地との間に多くの縦穴を掘り、横穴でつなぎ地下路を利用して灌漑し、農業が営まれてきた。

シ 地下水を大量にくみ上げ、スプリンクラーを使用して灌漑することで、輸出作物を中心に生産する大規模農業が可能となった。

ス 被圧地下水をくみ上げるために深く掘った井戸を利用し、牧畜業が発達してきた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Y	シ	ス	サ	ス	サ	シ
Z	ス	シ	ス	サ	シ	サ

旧地理A

第3問 南アジアに関する次の問い合わせ(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1は、南アジアの地域を示したものであり、後の図2中の①~④は、図1中の地点ア~エのいずれかにおける3か月単位の降水量を示したものである。地点エに該当するものを、図2中の①~④のうちから一つ選べ。

13

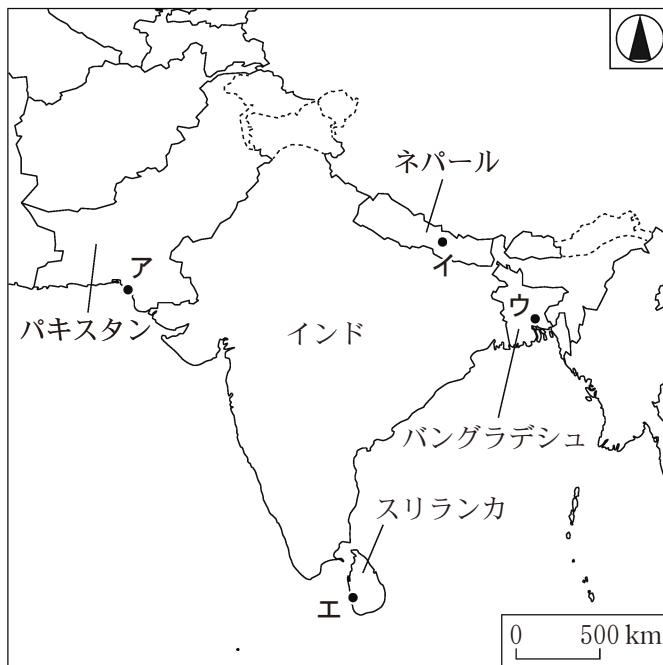
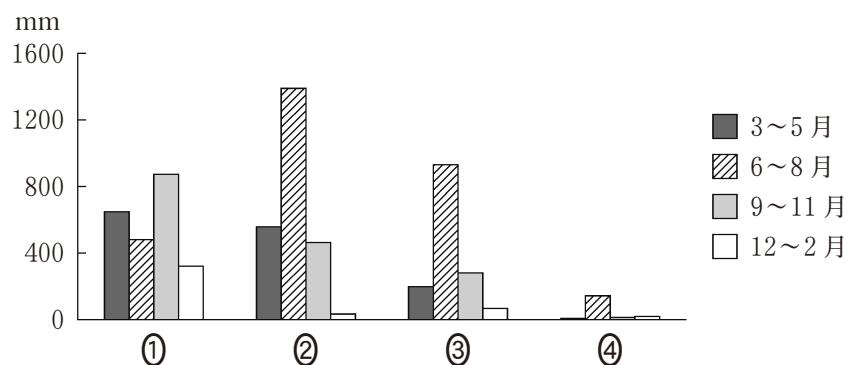


図 1



『理科年表』により作成。

図 2

問 2 南アジアでは多様な宗教がみられる。次の表1は、いくつかの国における宗教別の人団割合を示したものであり、A～Cはスリランカ、ネパール、パキスタンのいずれか、力とキはイスラーム(イスラム教)とヒンドゥー教のいずれかである。ネパールとイスラームとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

14

表 1

(単位：%)

	力	仏教	キ	キリスト教	その他
A	80.7	10.3	4.6	0.5	4.0
インド	79.5	0.8	14.4	2.5	2.8
B	13.6	69.3	9.8	7.3	0.0
C	1.9	0.0	96.4	1.6	0.0

人口割合の合計が100%にならないことがある。

統計年次は2010年。Pew Research Centerの資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ネパール	A	A	B	B	C	C
イスラーム	力	キ	力	キ	力	キ

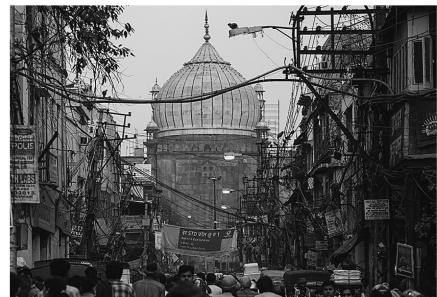
旧地理A

問 3 次の図3は、南アジアのある都市の衛星画像である。また、写真1中のサとシは、図3中の範囲GとHのいずれかで撮影されたものである。さらに、後の文章は図3と写真1に関することがらについて述べたものである。空欄jに当てはまる記号とkに当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 15



Google Earthにより作成。

図 3



サ



シ

写真 1

範囲Gで撮影されたものは(j)である。範囲Hには、範囲Gと比べると(k)機能が集積している。

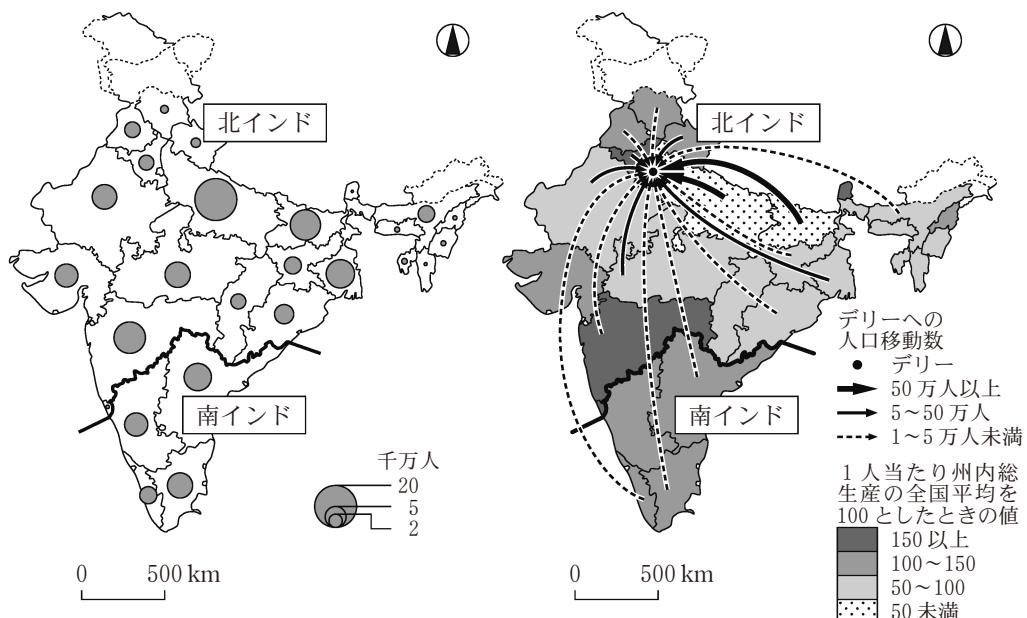
	①	②	③	④
j	サ 行政	サ 商業	シ 行政	シ 商業
k				

問4 次の図4は、インドの主な州*における人口を示したものである。また、図5は、インドの1人当たり州内総生産の全国平均を100としたときの州別の値と、インド国内の各州から首都デリーへの人口移動数**を示したものである。

図4と図5に関することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 16

*未確定国境を含んだ州、連邦直轄地及び島嶼部は除く。

**デリーでの居住期間が10年未満のもの。



統計年次は2011年。
インド政府の資料により作成。

図 4

移動数は1万人以上のものを示す。統計年次
は2011年。インド政府の資料により作成。

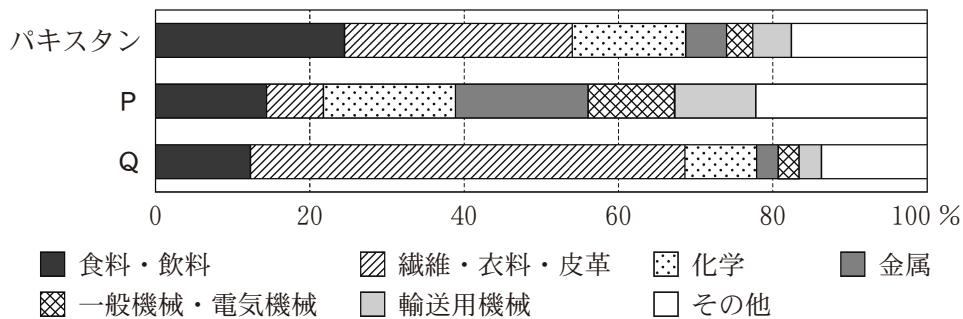
図 5

- ① 1人当たり州内総生産が大きい州ほど、州の人口が大きい。
- ② 北インドの方が、南インドよりも州間の経済格差が大きい。
- ③ デリーへの人口移動数が50万人以上の州は、経済発展が遅れている。
- ④ 国内におけるデリーへの人口移動が生じる要因として、デリーにおける豊富な就業機会があげられる。

旧地理A

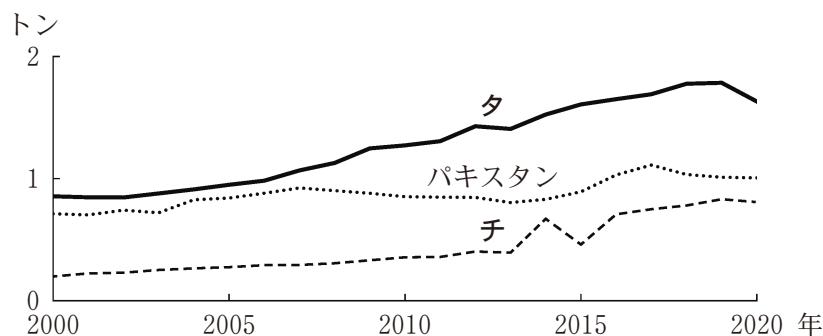
問 5 次の図6は、南アジアのいくつかの国における製造業の業種別出荷額割合を示したものである。また、後の図7は、これらの国における1人当たり二酸化炭素排出量の推移を示したものである。図6中のPとQ、および図7中の凡例タとチは、インドとバングラデシュのいずれかである。バングラデシュに該当する記号の正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

17



統計年次は2018年。UNIDOの資料により作成。

図 6



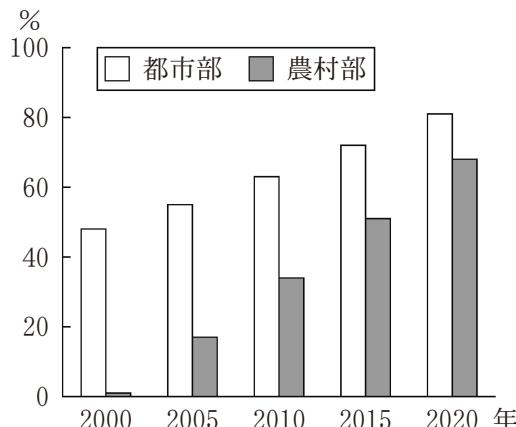
Our World in Dataの資料により作成。

図 7

	①	②	③	④
出荷額割合	P	P	Q	Q
1人当たり二酸化炭素排出量	タ	チ	タ	チ

問 6 インドでは、衛生環境の改善に向けた取組みがみられる。次の図8は、インドの都市部と農村部における、衛生的なトイレの利用率*の推移を示したものである。また、写真2は、インドの都市部に設置された公衆トイレを撮影したものである。図8と写真2に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 18

*他の世帯と共有されていない衛生設備を利用している人口の割合。



World Development Indicators により作成。

図 8



写真 2

インドにおいて、衛生的なトイレの利用率が低い要因として、①宗教的な点から不浄の観念が存在し、戸内へのトイレ設置が忌避されることや、上下水道の整備が不十分であることがあげられる。

衛生環境の改善を図るため、インド政府やNGOなどによって、衛生的なトイレの利用促進事業が進められた。2000年から2020年の間に、②都市部よりも農村部で、衛生的なトイレの利用率は大幅に改善した。このような事業は、③インド全国における過剰な人口増加の抑制に貢献する。

また、インドでは女性用のトイレが比較的少なく、女性が利用できる公衆トイレの設置事業が進められてきた。写真2のような公衆トイレの設置は、④男女間における生活行動上の制約の格差を正に寄与する。

旧地理A

第4問 シュンさんたちは、地球上の生物が様々な要因によって危機に瀕していることに関心をもち、地球環境の変化が生物に及ぼす影響について探究した。この探究に関する次の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 最初にシュンさんは、絶滅が危惧される動物の統計を調べた。次の表1は、いくつかの国における絶滅が危惧される哺乳類の種数と、そのうちの固有種*の種数を示したものであり、A～Cはインドネシア、オーストラリア、オランダのいずれかである。また、後の文ア～ウは、表1中のA～Cのいずれかの国の特徴について述べたものである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

19

*一つの国にしか生息しない種。

表 1

	絶滅が危惧される哺乳類の種数	
	全種数	うち固有種の種数
A	212	131
B	69	57
C	4	0

統計年次は2023年。国際自然保護連合の資料により作成。

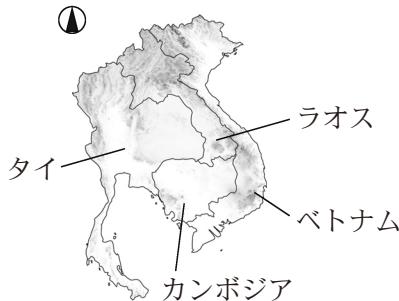
- ア 国土に広く分布している熱帯雨林の開発が進行中である。
- イ 国土のほとんどが農地や市街地としてすでに開発されている。
- ウ 国土は孤立した大陸からなり、独特的な生態系がみられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 カナさんは、東南アジアにおいて野生動物の生息域が縮小した原因の一つに森林伐採があげられていることを知り、森林の変化について調べた。次の資料1中の図は、東南アジアのいくつかの国における地形を示したものであり、表は1990年と2020年の自然林と人工林の陸地面積に占める割合を示したものである。表中のEとFは自然林と人工林のいずれか、力とキはタイとラオスのいずれかである。自然林とタイとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

20

資料 1



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示す。

(単位：%)

	E		F	
	1990年	2020年	1990年	2020年
力	7.0	7.7	70.4	64.2
キ	3.4	6.9	34.5	32.0
ベトナム	2.3	13.9	26.5	32.8
カンボジア	0.4	3.4	62.0	42.3

FAOSTATなどにより作成。

	①	②	③	④
自然林	E	E	F	F
タイ	力	キ	力	キ

旧地理A

問 3 シュンさんたちは、太平洋クロマグロが、かつて絶滅危惧種に指定されていたことに関心をもち、水産資源の問題について話し合った。次の図1は、太平洋クロマグロについて、1975年から2020年にかけての世界全体と日本の漁獲量の推移を示したものである。また、表2は、2022年の日本におけるクロマグロの供給量の内訳を示したものである。図1と表2をもとにシュンさんたちが話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

21

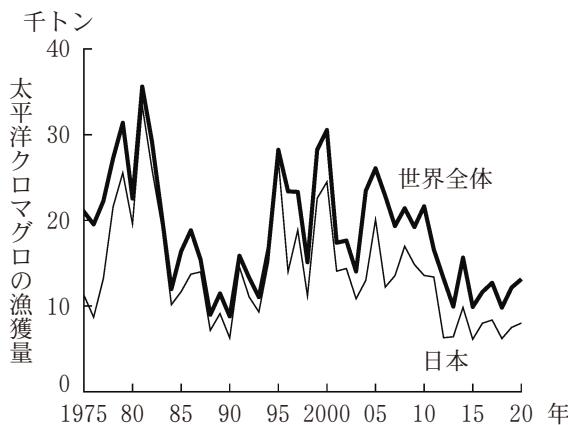


図 1

表 2

(単位：千トン)

漁獲量	太平洋クロマグロ	10.1
	大西洋クロマグロ	3.5
養殖生産量		20.5
輸入量	ヨーロッパから	14.4
	北アフリカから	5.1
	西アジアから	5.1
	北・中央アメリカから	2.0
	その他の地域から	1.0

統計年次は2022年。

水産庁の資料などにより作成。

シュン 「野生生物は、自然現象や人為的な環境破壊によって個体数を減らすことがあるね。①クロマグロの場合、食用としての乱獲が大きな要因と考えられるね」

ア ヤ 「クロマグロは、日本での消費が多い高級魚だね。クロマグロには、太平洋の北半球の海流に沿って生息する太平洋クロマグロと、北大西洋や地中海、黒海に生息する大西洋クロマグロがあるよ」

カ ナ 「図1をみると、日本の太平洋クロマグロの漁獲量は、現在では1980年代のピーク時の3分の1以下に減少したね。その背景には、②関係する沿岸国による資源管理が行われてきたことがあるね」

- ヒ 口 「漁獲量が減少しても、輸入によって国内に安定的に供給されていたよ。表2を見ると、日本は大西洋クロマグロも獲っているんだね。また輸入量では、③大西洋クロマグロよりも、太平洋クロマグロのほうが多いね」
- カ ナ 「2000年頃から、いくつかの国でクロマグロの養殖が始まったよ。それは、生育途上の未成魚を大量に捕まえて養殖をする畜養だったね」
- シュン 「近年、日本で養殖魚の卵から育てる完全養殖に成功し、その生産量が増加しているよ。④完全養殖の成功は、天然資源の保護に貢献するね」

問4 アヤさんは、地球上の様々な生物が気候変動の影響を受けていることを知り、世界各国の二酸化炭素の排出について調べた。次の表3は、いくつかの国における二酸化炭素排出量と、化石燃料による発電量の割合を示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、韓国、中国*、フランスのいずれかである。

韓国に該当するものを、表3中の①～④のうちから一つ選べ。 22

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 3

	二酸化炭素排出量 (百万トン)		化石燃料による 発電量の割合(%)	
	2000年	2018年	2000年	2018年
①	6,016	5,377	71.6	63.9
②	3,644	10,354	82.1	69.9
③	440	670	60.8	72.8
④	407	323	9.3	8.1

Global Carbon Atlasなどにより作成。

旧地理A

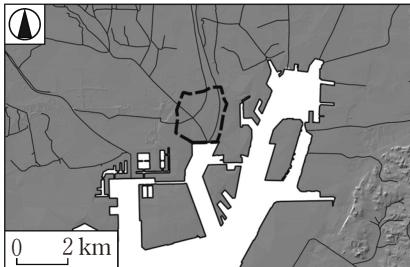
問 5 ヒロさんは、身近な湿地*が鳥類の生息の場になっていることを知り、日本各地の湿地について調べた。次の資料2中のJ～Lは、日本のいくつかの湿地とその周辺地域について、陰影をつけて地形の起伏を表現した地図と上空から撮影した写真を示したものである。また、後の文章サ～スは、J～Lのいずれかにおける課題と保全の取組みについて説明したものである。J～Lとサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23

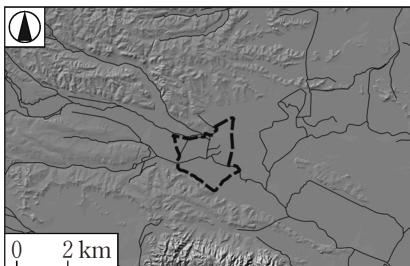
*沼澤地、湿原、泥炭地または水域、および水深が6mを超えない海域。

資料 2

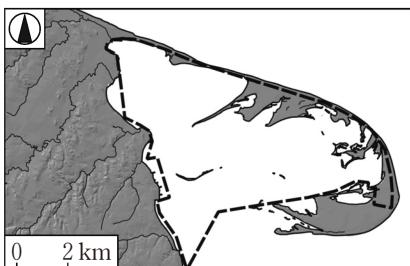
J



K



L



—— 河川・水路

□□□ 保全対象となる湿地

地図の向きと写真的撮影方向は異なる場合がある。国土数値情報などにより作成。

- サ 湿地を取り囲むように都市開発が進み、河川からの廃棄物の流入や不法投棄がみられた。周辺住民による清掃活動が行われている。
- シ 地形の改変が少ない場所であり、観光と保全の両立が進められている。水面の上昇が湿地に及ぼす影響が懸念されている。
- ス 地形や土地利用の制約により、渡り鳥が一部の範囲に集中している。冬季に水田に水を張り、鳥のための環境づくりが進められている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	サ	サ	シ	シ	ス	ス
K	シ	ス	サ	ス	サ	シ
L	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 最後にシュンさんたちは、生物保護や環境保全を目的とした国際的な取組みに着目した。次の表4は、いくつかの地球的課題について、国際的な結びつきの中で進められている取組みを、シュンさんたちがまとめたものである。地球的課題に対する取組みとしては適当でないものを、表4中の①～④のうちから一つ選べ。

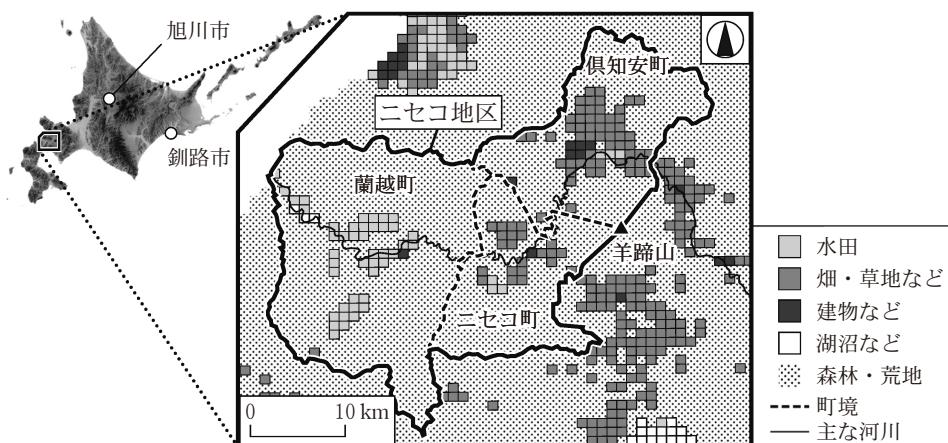
24

表 4

地球的課題	取組み
絶滅が危惧されている動物の保護	① 野生の動植物の取引を規制する条約に調印して、動植物の違法な売買を取り締まる活動を強化する。
持続的漁業のための水産資源の回復	② 排他的経済水域内における漁業を規制し、公海での漁業を推進する。
地球温暖化の緩和	③ 温室効果ガス排出量の数値目標に従い、再生可能エネルギーの利用割合を高める。
湿地における生態系の保全	④ 亂開発を抑制する条例を制定し、湿地の保全を進め、湿地保全に関する条約登録湿地とする。

旧地理A

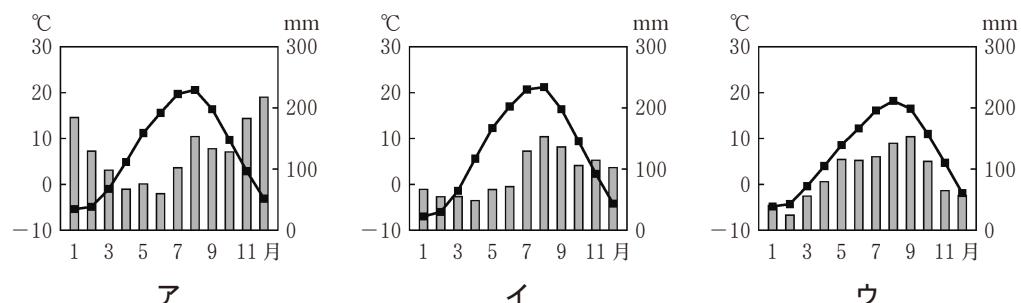
第5問 高校生のミウさんたちは、修学旅行の機会を利用して北海道の俱知安町、
ニセコ町、^{らんこし}蘭越町からなるニセコ地区で地域調査を行った。次の図1を見て、この
地域調査に関する後の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 20)



国土数値情報などにより作成。

図 1

問1 ミウさんたちは、ニセコ地区の気候の特徴を理解するため、北海道内の他の
都市の気候と比較した。次の図2は、図1中のいくつかの市町における雨温図
である、ア～ウは俱知安町、旭川市、釧路市の中のいずれかである。市町名と
ア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25



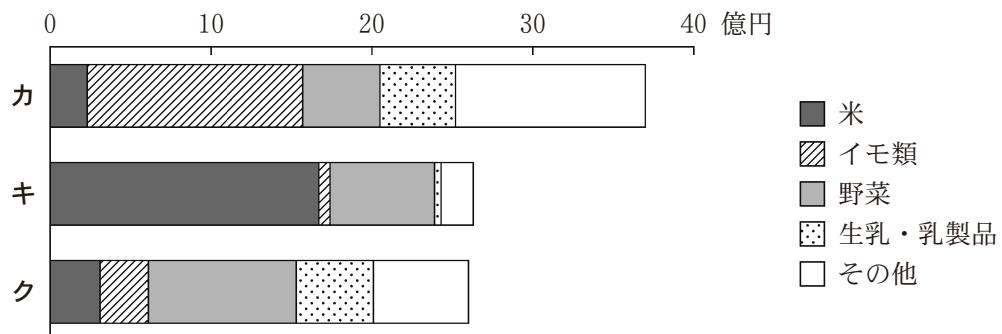
気象庁の資料により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
俱知安町	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
旭川市	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
釧路市	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 ミウさんたちは、ニセコ地区の各町における農業の特色が、図1のメッシュで示した土地利用と関係していることに気づいた。次の図3は、ニセコ地区の各町の農畜産物別産出額を示したものであり、力～クは、俱知安町、ニセコ町、蘭越町のいずれかである。町名と力～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

26



統計年次は2021年。農林水産省の資料により作成。

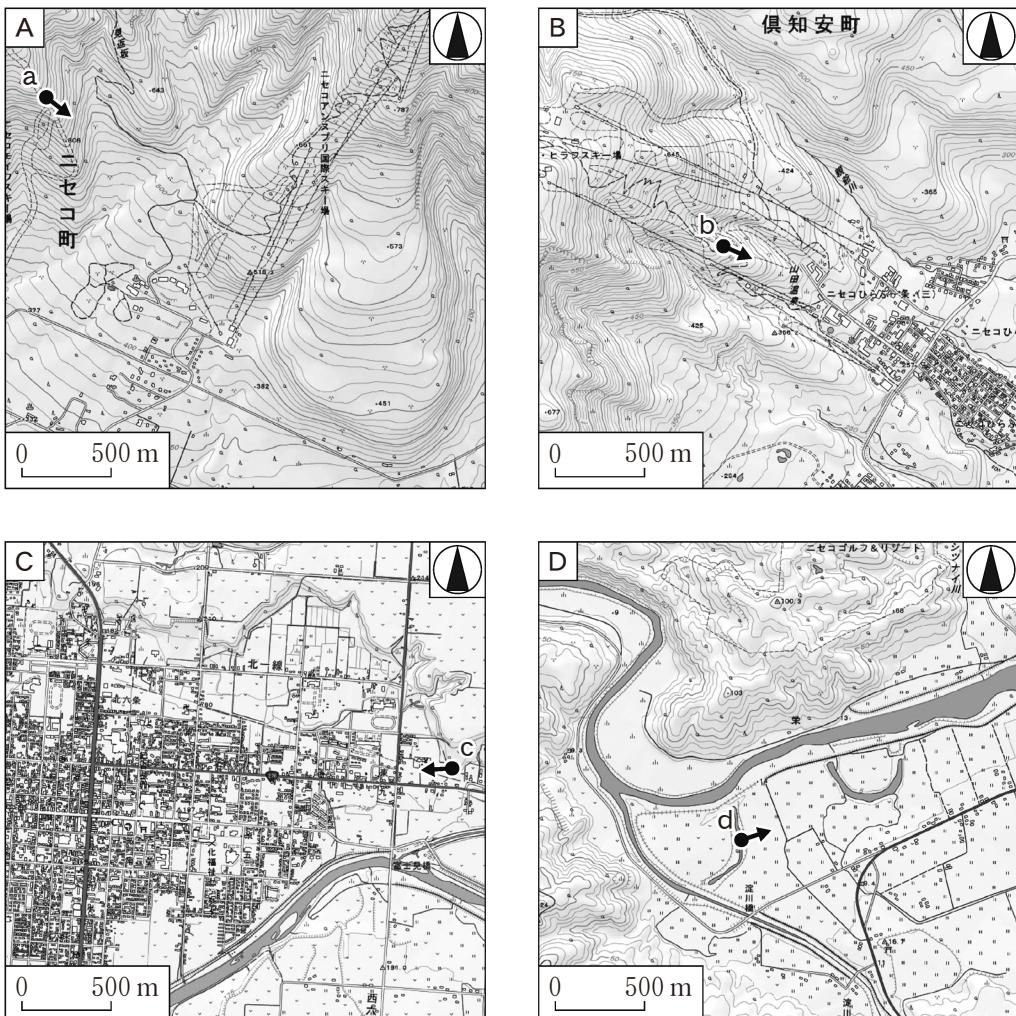
図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
俱知安町	力	力	キ	キ	ク	ク
ニセコ町	キ	ク	カ	ク	カ	キ
蘭越町	ク	キ	ク	カ	キ	カ

旧地理A

問3 二セコ地区でスキーを体験したミウさんたちは、スキー場で撮影した写真や先生が撮影した写真をもとに、二セコ地区の地形や歴史について考えた。次の図4は、後の図5中のA～Dのそれぞれの地形を拡大して示したものである。また、後の写真1中のa～dは、それぞれ図4中の地点a～dで撮影したものである。図4と図5、および写真1を見て、ミウさんたちは話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

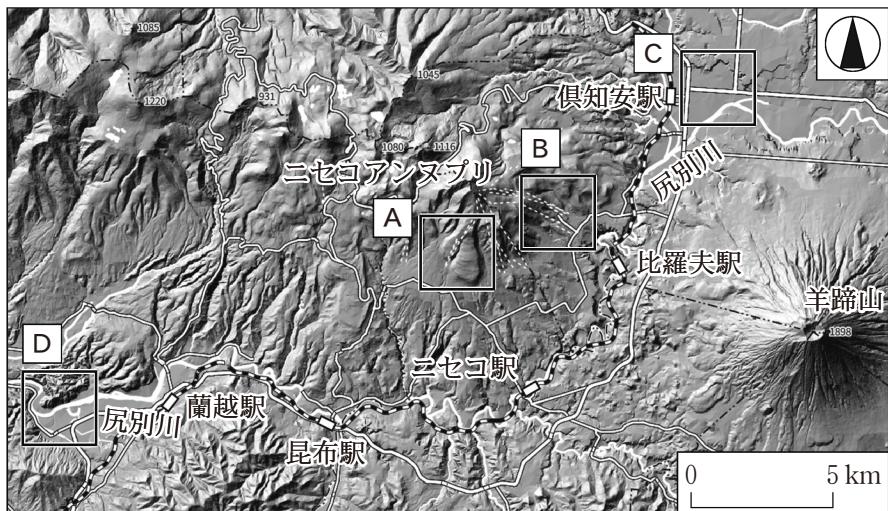
27



地理院地図などにより作成。

図 4

旧地理A



地理院地図などにより作成。

図 5

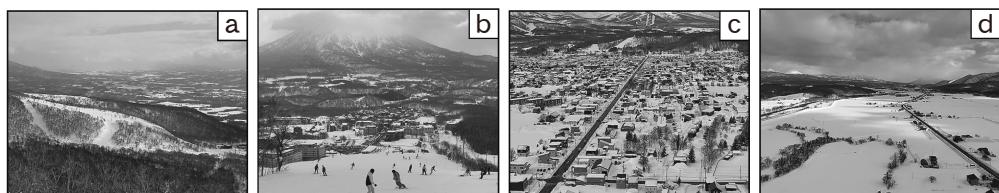


写真 1

先生 「羊蹄山やニセコアンヌプリを含め、この一帯には火山がみられます」

ミウ 「地点aから見える丘は、上部が広い緩斜面だね。図4と図5の地図を見ると、①この地形は溶岩が流れてできたということがわかるね」

カノア 「②スキー場の地点bは尾根上に位置しているね。また、晴れていればスキーをしながら羊蹄山を見ることができるんじゃないかな」

先生 「ドローンからの写真では、自然や歴史、人の暮らしの関係が読み取れます」

ヨシト 「地点cから見える道路網は、北海道における③計画的な開拓の歴史が反映されたものだね」

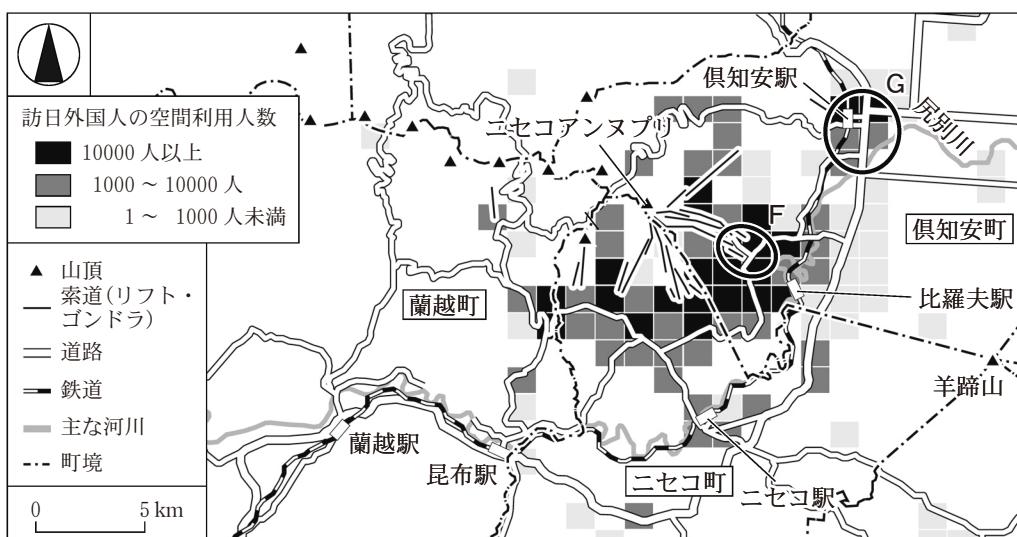
サラ 「地点dから見ると、住居が点在し、蛇行したように木々が連なっているね。④これらの木々は、住居を風から守るために植えられたのかな」

旧地理A

問4 ミウさんたちは、外国人観光客の来訪による地域への影響を話し合った。次の図6は、訪日外国人の空間利用人数*をメッシュ単位で示したものである。また、後の写真2中のsとtは、図6中の範囲FとGのいずれかで撮影したものである。会話文中の空欄xにはFとGのいずれか、空欄yには後の文サ～スのいずれかが当てはまる。空欄xとyに当てはまる記号と文との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

*スマートフォンなどの位置情報をもとに、各メッシュに1時間以上滞在した人の数を日別に集計した数値。



データは2017年8月からの1年間。RESAS(地域経済分析システム)などにより作成。

図 6



写真 2

ミ ウ 「図6をみると、ニセコ地区には外国人観光客が様々な場所を訪れていることがわかるね」

ヨシト 「範囲(x)には写真2のtのように、外国人が多く利用する宿泊施設がみられたね」

カノア 「これらの宿泊施設は、外国資本によって開発されたものが多いらしいよ」

ヨシト 「周りにも英語で書かれた看板が多くて、外国のようだったね」

ミ ウ 「そういえば、このあたりで食べたラーメンは1杯3,000円もしたよ。様々なものの料金に影響が出ているかもしれないね」

サ ラ 「インターネットで1月の宿泊料金を調べると、範囲(x)にある宿泊施設は、もう一方の範囲の宿泊施設と比較して軒並み高いね」

ミ ウ 「1部屋1泊10万円を超えているものもあるね。それでも満室になっている宿泊施設も多いね」

サ ラ 「(y)」

カノア 「ニセコ地区の観光をもっと調べる必要がありそうだね」

(y)に当てはまる文

サ 宿泊施設での雇用が増加しても、他の産業への波及効果はないだろうね

シ 宿泊施設の周辺では、観光による利益を見込んで、土地の価格が上昇するだろうね

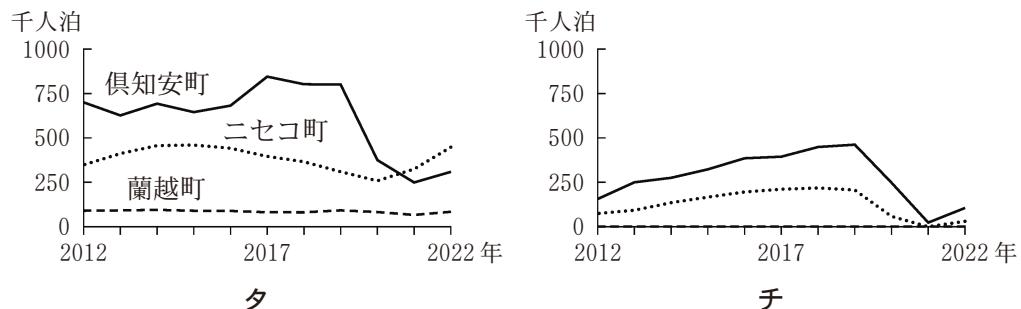
ス すでに宿泊施設が十分に立地しているから、新たに宿泊施設が建設されることはないだろうね

	①	②	③	④	⑤	⑥
x	F	F	F	G	G	G
y	サ	シ	ス	サ	シ	ス

旧地理A

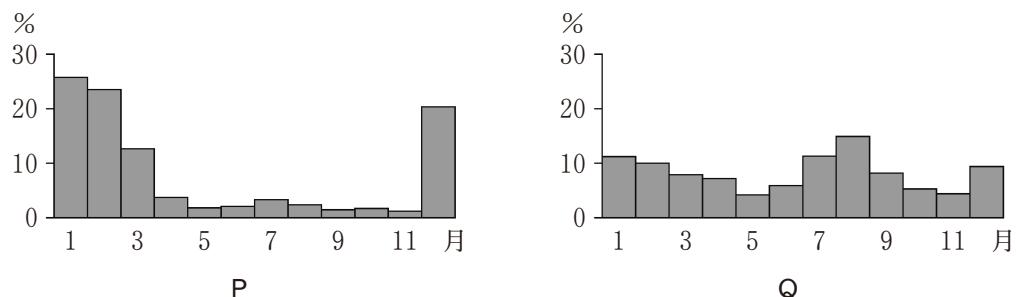
問 5 ミウさんたちは、ニセコ地区における観光客数について調べた。次の図7中のタとチは、外国人と日本人のいずれかについて、各町の2012年から2022年にかけての、延べ宿泊者数の推移を示したものである。また、後の図8中のPとQは、外国人と日本人のいずれかについて、ニセコ地区の2019年における延べ宿泊者数の月別割合を示したものである。外国人延べ宿泊者数の推移と、外国人延べ宿泊者数の月別割合との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29



北海道の資料により作成。

図 7



北海道の資料により作成。

図 8

	①	②	③	④
外国人延べ宿泊者数の推移	タ	タ	チ	チ
外国人延べ宿泊者数の月別割合	P	Q	P	Q

問 6 ミウさんたちは、ニセコ地区の観光に対する住民意見にもとづき、今後の地域の目指す方向性を議論した。次の資料1は、修学旅行中に実施した聞き取り調査で得られた住民意見の例をもとに、それらに対応する施策案と、施策の効果を評価するための指標案をまとめたものである。住民意見に対応する施策案と指標案としては適当でないものを、資料1中の①～④のうちから一つ選べ。

30

資料 1

【住民意見の例】

住民が賛同しない
観光開発により
自然や景観が壊れる

⇒ ①

【施策案】

開発業者に
対する
住民説明会
の開催要求

↔

住民説明会
の開催回数と
参加者数

観光客の増加により
地域内の交通に
支障が出る

⇒ ②

需要の季節的な
偏りに対応した
事業者の誘致

↔

地域内交通の
キャッシュレス
化率

観光客に地域の
じゃがいも、米、乳製品
を売り込みたい

⇒ ③

地元産農産物の
加工・販売
に対する補助

↔

地域産品の
売上額

観光産業で働く
外国人を地域に
受け入れたい

⇒ ④

各国の文化や
言語を学べる
場の創出

↔

住民の各国
への親しみ度